

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室
				担当職員 鈴木 智
日 時	平成27年7月28日(火曜日)		開 議	午前 10時 00 分
			閉 議	午前 11時 00 分
出席委員	福井 ○小島(広報部会長) ○馬場(広聴部会長) 三上 小川 奥村 田中 富谷 平本 <西口議長>			
事務局 出席者	藤村局長、山内次長、鈴木係長、坂田主任、池永主任			
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名()

会 議 の 概 要

10:00

〔福井委員長開議〕

<福井委員長>

開会にあたり議長からごあいさつをいただきたい。

<西口議長>

議会として意見交換会を充実したいと考えており、広報広聴会議の委員には感謝申し上げる。8月21日には子ども議会を開催するが、福井委員長、馬場副委員長にご協力いただき進めてきた。子ども議会は意見交換の場として実施し、答弁は議会として行うものとする。ご理解、ご協力をいただきたい。

[事務局 日程説明]

1 広聴部会活動

(1) NPOとの意見交換会について

<福井委員長>

特定非営利法人みんなのネットワーク理事長の坂本氏と協議を進めてきた。別紙のとおり内容を確認いただきたい。前半はNPO基礎講座として開催した後、わがまちトークとする。15分程度で準備は可能。本日は受付、資料配布の割り振りをしたい。終了後の片づけは議会が担当する。出欠については7月31日までに事務局へ報告いただきたい。

当日の役割分担はどのように決めたらよいか。

<奥村委員>

委員長一任でお願いしたい。

[当日の役割分担] (委員長により割り振り 決定)

司会：馬場副委員長、あいさつ：西口議長、コーディネーター：福井委員長

受付：田中委員・平本委員、写真撮影：小川委員、マイク係：三上委員・奥村委員

記録：小島副委員長

<福井委員長>

広報は議会が担当する。事前に新聞社へも行き広報したい。また、時間の都合上、

出席名簿を配布し自己紹介に代えたい。

< 奥村委員 >

傍聴者の受付はどこまでを記入してもらうのか。

< 福井委員長 >

名前等を記入いただく。

< 藤村局長 >

議会報告会のように名前と町名を記入いただく。資料も用意する。

< 小島副委員長 >

N P Oにも受付の手伝いをしてもらってはどうか。

< 福井委員長 >

参加者の名簿があるので受付の手伝いは不要。

< 奥村委員 >

マイク担当は議員席の後ろに座るのがよいのではないか。

< 小島副委員長 >

記録担当も議員席の後ろに座るのがよいのではないか。

< 藤村局長 >

机の垂れ幕は司会、コーディネーター、議長は用意する。

< 福井委員長 >

今回のわがまちトークはテーマ設定をせずに実施するので、どのような展開になるか分からないので、マイク担当の議員も答弁をしていただいてもよいと考える。

(2) 子ども議会の役割等の確認について

< 福井委員長 >

保護者から申し入れがあり、児童の顔と名前が一致したものをインターネットで配信することとDVDに映像として残ることを拒否されている。

< 藤村局長 >

校長から連絡があり、当日モニター放映で顔を映すのは構わないとのことであった。

< 福井委員長 >

答弁は29日に各議員のメールボックスに入れるので確認いただきたい。議長の想いと挑戦する議会に賛同して協力いただきたい。

< 三上委員 >

バスの運行について、添乗する議員は市役所から乗車するのではないのか。

< 鈴木係長 >

最初に停車する小学校から添乗いただきたい。帰りは行きの逆で運行する。

< 山内次長 >

リハーサル及び本番の保険対応については、市役所のイベント保険で対応できる。

< 田中委員 >

記念撮影のレイアウトについては考えていただきたい。

< 福井委員長 >

写真撮影のレイアウトはリハーサル時に考えるのか。

< 藤村局長 >

子ども議員、市議会議員、市長、教育長で50人になる。2回に分けて撮影するか等を考えていきたい。レイアウト図は8月18日に配布できたらと考える。

(3) 議会報告会の意見様式について

< 福井委員長 >

議会報告会の参加者の中で、一人ですっと話をする人がいる。その対応策として加賀市議会では、議会報告会の中盤で休憩を入れ、アンケートを配布する方法をとっている。司会が止めることも一つであるが、仕組みとして何か考えられないか。

< 平本委員 >

発言されない方の意見をお聞きするのはよいと思う。

< 小川委員 >

司会で調整してもらうのがよい。

< 三上委員 >

司会が最初に宣言することが大切。一問一答にせず、一人あたりせめて3～4分程度にまとめてもらう。2回目の場合はさらに短くまとめていただく。また、マイク係がうまく取り計らうことが重要。議員の一存で答えられないことは持ち帰るなどの整理が必要。

< 福井委員長 >

司会の技術が重要となる。

< 西口議長 >

三上議員は実際に全体に話を聞いていく手法をとられており、参考にさせていただきたい。

< 馬場副委員長 >

一問一答にせずに2～3人の意見を聞いてまとめて返していくのがよい。会場の中で深めていくような運営が重要。

< 福井委員長 >

加賀市では休憩中に書いてもらい意見として扱っている。司会としてうまく運営できるのがよい。今後は手法を考えていきたい。

< 富谷委員 >

前回の会場では、議会報告会の終了後に参加者の女性から同じ女性であるからこそ声をかけていただく機会があった。司会の手法が大切であり皆から意見をいただけるようにするのがよい。

< 福井委員長 >

司会としては、一人で話さないでもらうこと、話す機会がなければ後から声をかけいただいてもよいこと、議会報告会では広聴したいという趣旨を伝えることが大切といったマニュアルを作る方法もある。マニュアルの作成が本当によいかという思いもあり、今後模索していきたい。

< 三上委員 >

最低でも文書での意見聴取があってもよい。休憩をとってまで実施するものでなく、箇条書きでもよい。

2 その他

(1) 議会だよりの文章表記(ルビ)の取り扱いについて

[福井委員長 説明]

議会だよりのルビについては、広報部会で今後検討いただけたらよいと考える。

(2) 市町村議会広報研修会の出欠について

[福井委員長 説明]

出席者については、レジュメのとおり確認いただきたい。
今年度は、わがまちトークを11月か1月、2月あたりにもう一度開催したいと考えている。今回のNPOとのわがまちトークについては議会全体と話がしたいとのことであった。大学生たちと実施できればと考えている。

散会 11:00